

オーニソガラム・シルソイデスの 実生による切り花栽培



表 播種時期および冷蔵処理の有無が切り花品質に及ぼす影響

播種時期	冷蔵処理 10 × 2 週間	出芽率 (%)	採花日 (月/日)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	切り花重 (g)
6月	有	88	4/13	79	8	25
	無	13	-	-	-	-
7月	有	70	4/11	82	7	33
	無	10	-	-	-	-
8月	有	67	4/20	78	8	29
	無	57	4/25	74	9	22

作 型 図

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
実生栽培	× ▲ (冷蔵処理 10 2週間)										
球根栽培 (慣行)											

× 播種 ▲ 冷蔵 定植 ■ 収穫

オーニソガラムの切り花栽培では、10月に球根を定植し、5月に採花します。しかし、購入球根では種苗費が高くなり、また、切り下球根の利用では病害の心配があります。そこで、実生から1年で採花できる技術を紹介します。

種子は、自家交配により比較的簡単に採種できます。この種子を、7月中旬にセルトレイへ播種し、出芽を良くするため10 で

2週間冷蔵処理します。その後、雨よけハウスに移し、約2カ月間育苗します。10月上旬にハウス内に定植し、10 で加温すれば2月中旬に発蕾して、4月中旬には60cm以上(2L規格)の切り花が採花できます。

今後は、切り花品質を向上させるため、栽培温度、栽植方法および施肥量の検討を行います。

(山間試験部 森田 研一 0887-72-0058)